

イベントレポート「ランタンアート 2013」<12 月 14 日(土)・15 日(日)>

今年で 5 回目の開催となった「ランタンアート」。今年は昨年を上回る 1,000 個のランタンが、つくばセンター地区を灯しました。今年も多くの人で賑わい、一時はセンター広場内のランタンの絵が人影でよく見えなくなるほど。インターネット上では一般の方による綺麗な写真はもちろん、力作の動画も UP されており、ますます注目されてきたことを実感しました。

<参加型イベントとしてパワーアップ>

ランタン 6,500 個のうち、約 1,400 個は協議会会員が制作しましたが、残りの 5,100 個は市民や来街者によって制作されました。

毎年つくば市教育委員会にご協力いただき、市内の小中学校へランタンアートへの参加を呼びかけていますが、今年は参加校が 21 校にのぼり、4,150 個のランタンが制作されました。その他事前のワークショップ参加者で 700 個、大盛況だった当日ランタン工作コーナーで 100 個(2 日間)、コンテスト参加者で 150 個と、約 5,000 人がランタン制作に参加しました。

当日の設置～撤収には、会員ボランティア・小学校保護者・中学生・筑波学院大学生・市民サポーターなど 1 日約 200 人のボランティアにご協力いただき、見るだけでなく、たくさんの方が参加するイベントになっています。

<学びの場として定着も>

ランタンアートの運営には、会員以外に学生が深く関わっています。

筑波学院大学の学生の社会力を養うカリキュラムの実践の場として、4 年前からインターンシップ生を受け入れており、

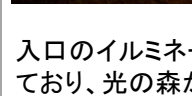


▲つくば竹園学園(竹園東中・竹園東小・竹園西小)が 1200 個のランタンで描いた「芽吹けつくば」

今年は 9 名の学生が夏のワークショップから活動に参加しました。初めはワークショップでの声掛けも不安そうでしたが、回を重ねるごとに成長し、当日は会員やボランティアの小学生保護者に頼りにされる存在となっていました。

そして今年竹園東中学校の 2 年生約 180 人が、地域に根差した活動にとりくむ「つくばスタイル科」の授業の一環として、春から活動に関わりました。センター広場の配置も自分たちで考え、11 月の全国小中一貫サミットの公開授業において、竹園東・西小学校の 4 年生も加わり、当日のリハーサルも兼ねて体育館にランタンを並べました。また、イベント前に落ち葉清掃をしたり、告知用の動画を制作してネット上にアップするなど、今年のランタンアートを盛り上げてくれました。当日は自分たちの作品を並べる担当と協議会のお手伝いをする担当に分かれ、設置・点灯・撤収に頑張りました。中学生がいきいきと作業している姿が印象的でした。

つくば光の森 2013 <11 月 23 日(土)～1 月 13 日(月・祝)>



11 月 23 日(土)よりつくば光の森のイルミネーションが点灯しました。ペDESTリアンデッキを飾るケヤキ並木のイルミネーションは、つながりを感じさせる「空」や「海」をイメージした「青」で統一され、中央公園には近隣小中学校の制作した LED オブジェが出現しました。

また今年からつくば市市民活動センターの「一本からのクリスマス」が新しい光の森の仲間となりました。レクサスやシティアビルの入口のイルミネーションも年々数を増やしており、光の森が広がっています。

当協議会では、つくば光の森実行委員会の一員として今年も夏から準備を始め、つくばセンター地区のイルミネーションを紹介する「つくば光の森案内マップ」を 25,000 部制作し、TX 各駅やつくば市内の商業・公共施設等で配布しました。さらに、つくば駅バスターミナルに「つくば光の森」のパナーを 47 個設置し、つくば駅利用者に向けてアピールしました。



広告協力ありがとうございました。
レクサスつくば、筑波学園ホテル、ACCS、常陽銀行、筑波銀行、筑波都市整備、広沢土地倉庫、ライトオン、つくば献血ルーム、つくば観光コンベンション協会、つくば市商工会

<ラジオで点灯のカウントダウン>

ランタンの設置場所は、北エリア、南エリア、センター広場エリア、クレオエリアの 4 箇所に離れており、お互いの様子を知ることができないことが課題となっていました。そこで今年では全てのエリアで同時に点灯しようと、ラジオつくばの協力のもと「ランタンアート特別番組」内で、高田会長がラジオを通してカウントダウンを行い、各エリアで一斉に点灯を始めることができました。



<中学生とのペア>

センター広場付近では、協議会会員と竹園東中学 2 年生がペアになって、市内の他の小中学校より預かったランタンを並べる作業を行いました。ペアを組んだ会員からは、「中学生と一緒に何かをやることはなかなかないのでとてもよい刺激になった」と、好評だったようです。



<ランタンの配置>

ランタンの数が多かった今年、ノバホール～オークラホテルまでのセンタービル側にもランタンが並びました。

ハートやクリスマスツリー、「つくば」などの文字を描いたり、壁面や段差を利用して立体的に見せるなどのアイデアを凝らした配置は、来場者の目を楽しませました。



<Web で見られます！>

一般の方が制作したランタンアートの動画をインターネット上で見るができます。また、当協議会の HP でも今年の様子、オリジナルランタンコンテストの結果や写真を掲載していますので、是非ご覧ください。

- つくばスタイル(youTube)
<http://youtu.be/RWtvCtBqJAg>
- つくば市民活動の広場(Facebook)
<https://www.facebook.com/tsukuba.hiroba>

<ご協力ありがとうございました。>つくば都市交通センター、筑波都市整備、筑波学園ホテル、ACCS、レクサスつくば、広沢土地倉庫、筑波銀行、常陽銀行、筑波大学、つくばエキスポセンター、茨城県つくば美術館、ライトオン、西武筑波店、つくば文化振興財団、つくば市市民活動センター、つくば市国際交流協会、つくば市、つくばみどり会、茨城県造園建設業協会、吾妻小学校・竹園東小学校・竹園西小学校の保護者の皆さん、市民サポーター

つくばセンター地区探検隊 <10 月 5 日(土)～27 日(日)>

筑波研究学園都市 50 周年を記念し、市民・来街者につくばセンター地区を巡って名所やまちの歴史などを知ってもらおうクイズ&スタンプラリーを実施しました。

「まちの七不思議を訪ねよう」と題したこのラリー。全て回るには 2 時間以上かかるにも関わらず、週末を使って子どもたちと一緒にじっくり回る参加者が多くいらっしゃいました。その結果、10 月 20 日(日)・27 日(日)に実施した答え合わせ&抽選会には、約 200 名もの方に、抽選会場に足を運んでいただきました。

「クイズが難しかった、でも面白かった」という感想が多かった一方、難しさが参加者の闘志に火をつけたのか、何と約半数の参加者がパーフェクト!!

つくばセンター地区をじっくりと楽しんでいただくよい機会になったようです。



▲ MOG1 階のプラザパフォーマンスでは、駐車場に関するスタンプを押すことと、プラザパフォーマンスの装飾を使ったクイズに答える指令が。

つくばセンター地区防災連絡会が発足

つくばセンター地区防災連絡会は、協議会会員 56 社中 34 社で発足し、10 月 15 日(火)に第一回の会合を行いました。

ワーキンググループで内容を練ってきた「つくばセンター地区防災マップ」と会員名簿を配布し、非常時には災害用掲示板を利用する事、年に 2 回程度センター地区の防災訓練や今後の課題を話し合う場を設けることを確認しました。

また、センター地区の防災機能を強化するため、情報収集や発信のツールに有用とされる「ツイッター」について学びました。ラジオつくばの岩崎社長が講師となり、「ツイッター」の使い方をはじめ、会員がツイートした内容をラジオで放送できることを実現いただきました。

今後は、既にツイッターを使用している会員が「お知らせツイート」をするとラジオで放送されるという流れを実験し、ラジオの効果的な使い方・配置等も検討していく予定です。



▲災害時にも活用できるライトオン前の掲示板(左)とつくば駅自由通路内(右)の掲示板

落ち葉清掃<12 月 12 日(水)・13 日(木)>

ランタンアートを安全に開催するため、またつくばセンター地区の環境整備のため、12 月 12 日(水)・13 日(木)に、落ち葉清掃を行いました。12 日は会員によって長いペDESTリアンデッキを、13 日は竹園東中学校 2 年生全員でセンター広場周辺を清掃しました。2 日間かけて入念に行ったため、ランタンアート当日の設置がとてもスムーズにできました。



◀水路の中まできれいになりました。

ご協力ありがとうございました。
茨城トヨペット、茨城県つくば美術館、つくば科学万博記念財団、つくば都市交通センター、雄好会、筑波大学、筑波都市整備、UR 都市機構、ライトオン、茨城県損害保険代理業協会、茨城県造園建設業協会、つくばみどり会、つくば市国際交流協会

【編集後記】今年のランタンアートも寒い 2 日間でした。それでもロウソクの灯とたくさんの来場者で、会場は暖かい雰囲気になりました。当日、ランタンに絵を描く「ランタン工作コーナー」にも多くの人が参加されましたが、若いカップルの参加も目立ちました。ランタンアートが、ムード作りに一役買っているかもしれませんね。

フラワーBOX の花、元気です！

10 月 23 日(水)に行ったフラワーBOX の花の植替えによって土を一新しましたが、その後協議会会員による水やり隊の皆様のおかげで、寒い中も元気に育っています。4 月頃には更に大きくなってセンター地区を彩ることでしょ。

花の植替えご協力ありがとうございました。
つくばエキスポセンター、ダイワロイネット、雄好会、西武筑波店、つくば文化振興財団、筑波都市整備、UR 都市機構、筑波学院大学、茨城住宅管理協会、つくば市市民活動センター、つくば市国際交流協会、市民サポーター
水やりご協力ありがとうございます。
つくば献血ルーム、筑波学院大学、UR 都市機構、雄好会、筑波都市整備、つくば都市交通センター、茨城県つくば美術館



来年度の公共空間活用実証実験

現在つくばセンター地区で行っている「公共空間活用実証実験」は 27 年度の条例化に向けて、来年度も実証実験が行われます。27 年春には駅前のターミナルビルがオープンすることも踏まえ、今後の「つくばセンターマルシェ」などの公共空間の活用と、当協議会の役割についてじっくりと検討していきたいと思ひます。

今後の予定

■梅に願いを
2 月 11 日(火・祝)
毎年 1000 枚以上の願い事が書かれたハート型の短冊がメッセージボードに集まる「梅に願いを」。当日参加した人には景品が当たる恋みくじをさしあげます。短冊は後日筑波山梅まつりの開園式で祈禱していただきます。



■ふるさとつくばゆいまつり(後援)
3 月 8 日(土)
●運営会議
2 月中旬～下旬予定

